

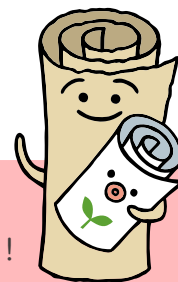
全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 応募の手引き

はじめに

地球温暖化や資源・エネルギー問題など様々な課題が増大する中、子ども達一人ひとりが環境問題について学習し、積極的にリサイクル活動に取り組むことが求められます。その第一歩として、身近にある「紙」のリサイクルから資源の循環を考えてみませんか。使い終わった紙がどのようにリサイクルされているのか、リサイクルの仕組みを知ることで環境問題への理解が深まると思います。この応募の手引きを通して、“紙リサイクル”の理解を深め、作品づくりへのポイントをおさえながら、環境学習の1つとして役立てて頂ければ幸いです。

紙リサイクル促進大使

「カミリィ」ちゃんと「カミリィママ」と一緒に学習してみましょう！



応募の手引きでわかること

紙リサイクルについて

紙リサイクルの仕組みや古紙の種類、生まれ変わる紙製品など図解を見ながら学ぶことができます。

作品づくりの注意点

リサイクルの表現方法について気を付けてほしいこと、書いてはいけないことに注目しています。

良い作例

実際に受賞した作品を見ながら評価が良かった点を見てみましょう。

良くない作例

良くない作例では、審査の対象外になるポイントをおさえています。

目 次

*項目をクリックすると、各ページへアクセスできます。

紙リサイクルについて

紙リサイクルとは？	3
紙リサイクルの仕組み	4
「古紙」と「生まれ変わる紙製品」の種類	5
紙リサイクルに関するマークの種類	6
「紙リサイクル」と「持続可能な社会」のつながり	7

作品づくりの注意点

書いて良いこと、いけないこと	8～10
----------------	------

良い作例

受賞作品と評価 作文編	11～15
作文づくりのポイント	16
受賞作品と評価 ポスター編	17～25
ポスターづくりのポイント	26

良くない作例

良くない作例 作文編	27・28
良くない作例 ポスター編	29・30

応募にむけて	31
--------	----

参考資料 審査基準	32
-----------	----

紙リサイクルとは？

使い終わった段ボールや紙箱、読み終わった本や新聞を回収し、資源に戻して新たな紙の原料に利用することです。

リサイクルの役割



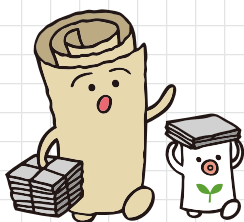
注目

本コンテストのテーマは、**紙の「リサイクル」**です。
「リデュース」と「リユース」は
当コンテストでは取り上げない
ため、**審査の対象外になります。**

使い終わったものを
資源に戻して利用すること

リサイクル
Recycle
再資源化

コンテストでは
リサイクルに
注目しているよ



リデュース
Reduce
ごみを少なく
する

なるべく
ごみを出さないこと

スリーアール
3R

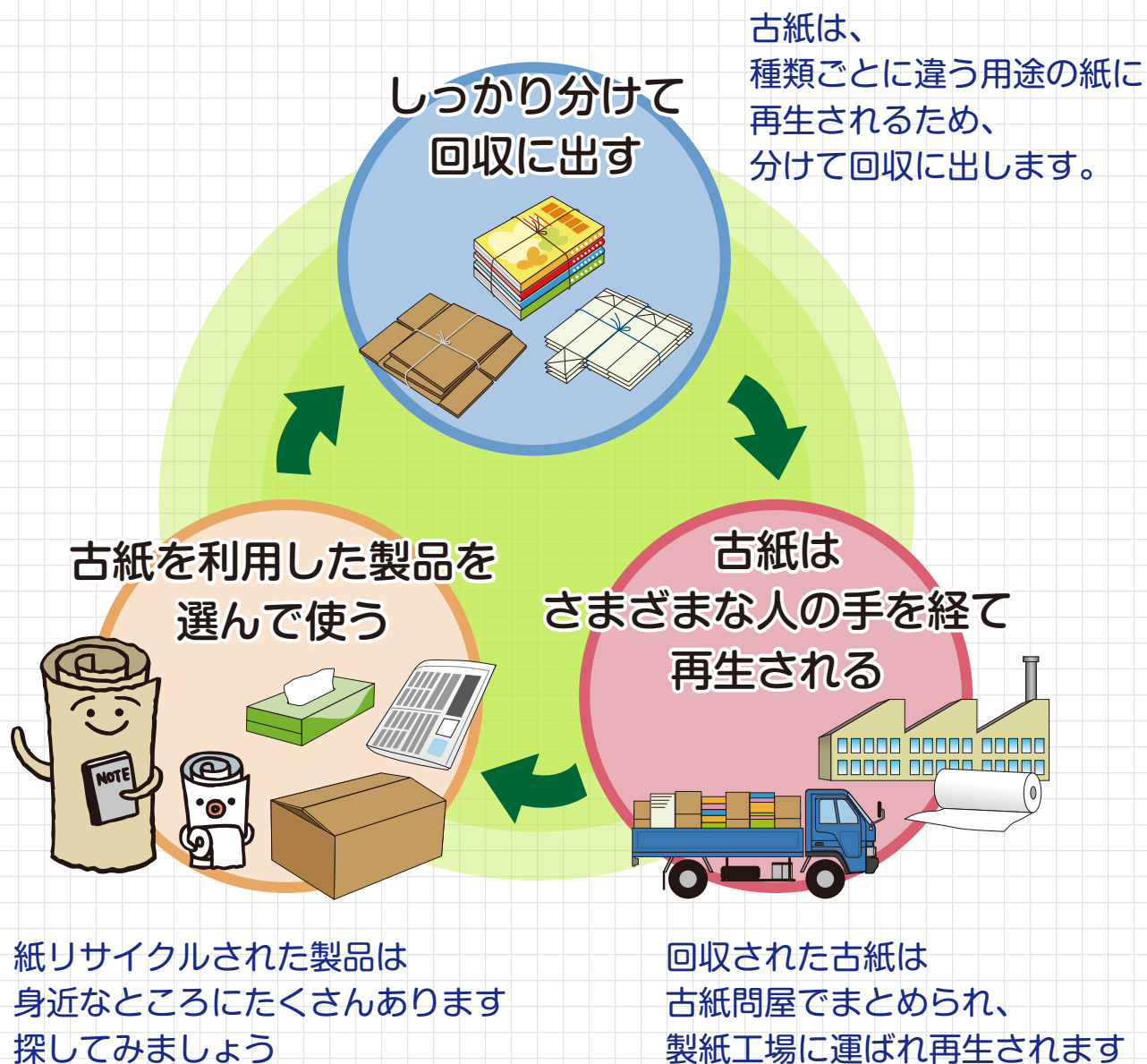
リユース
Reuse
再使用

捨てずに
繰り返し使うこと

メモ

限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会（＝循環型社会）を
つくろうとする活動の1つである **リサイクル** の他に、
リデュース、**リユース** といったごみを削減する方法もあり、
この「R」で始まる3つの活動を合わせて **スリーアール「3R」** といいます。

紙リサイクルの仕組み



メモ

グリーンマークを探してみよう！



「古紙を原料に利用した製品」についています。
ノートやトイレットペーパーなど身近なものから見つけてみよう！

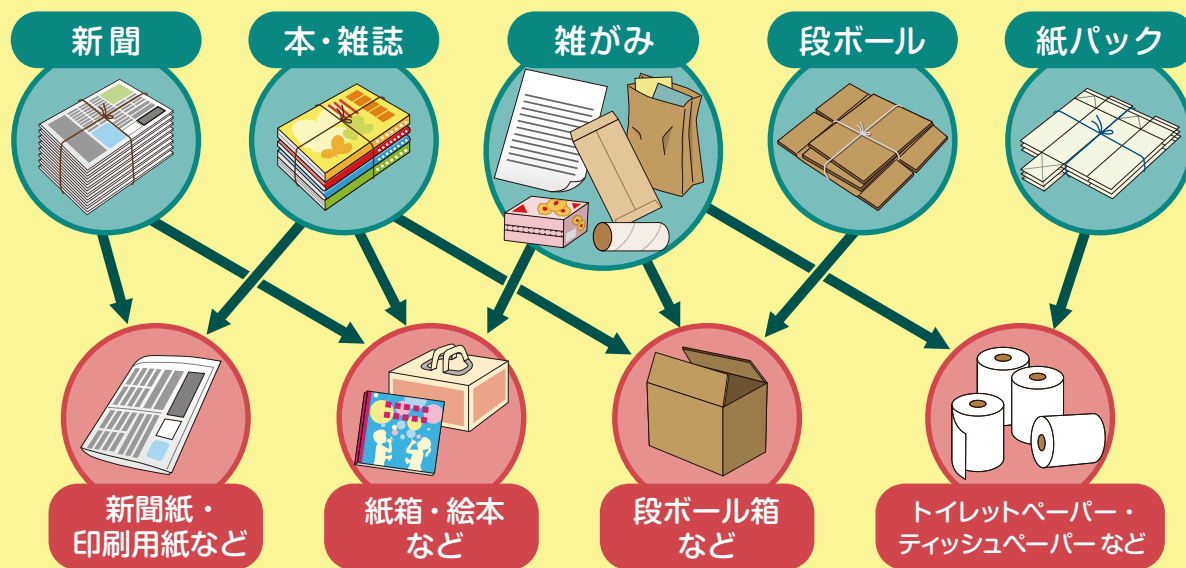
紙のリサイクル（再資源化）をきちんと理解して、

紙リサイクルの輪に参加しましょう！



「古紙」と「生まれ変わる紙製品」の種類を理解しよう

古紙の種類と紙リサイクルで生まれ変わる紙製品



※当センターでは「雑がみ」と表記しています。

メモ 雑がみについて

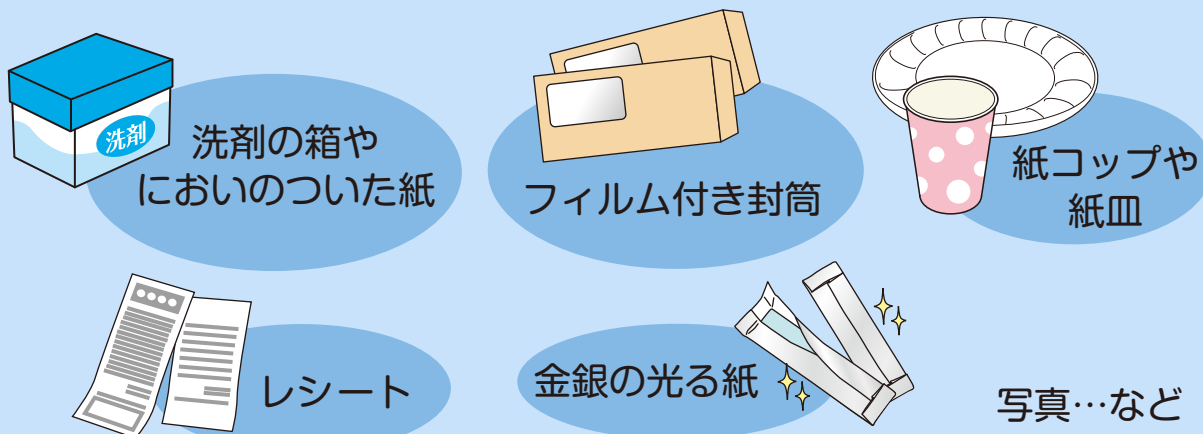
雑がみとは、紙箱や紙袋、プリント、封筒、紙の芯などを指します。

家族や友達、地域の人々と協力して、雑がみリサイクルをやってみました

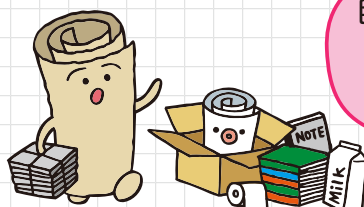
捨てていた紙をリサイクルしてみたよ

これらのテーマも考えてみましょう

リサイクルできない紙の一例



紙の種類ごとにしっかり分別することがとても大切だよ。

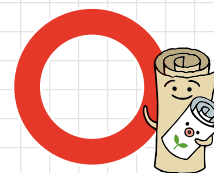


自分たちが住んでいる地域の古紙の分別区分を調べてみよう！

ポスター作品にマークを描く場合は、 マークの種類を知ろう

描いていいマーク

この5種類のマークは“紙リサイクル”に関係しています。
ポスターの中に描いて問題ありません。



グリーンマーク

古紙を原料に利用した製品についています。



グリーンマーク

段ボールのリサイクルマーク

リサイクルできる段ボールについています。



ダンボール

紙パック識別マーク

アルミのない紙パックについています。



牛乳パック再利用マーク

使用済みの牛乳パックを原料として使用した
商品についています。



再生紙使用マーク

古紙を、表示の割合使った再生紙に
ついています。

※古紙の配合率によって右側の数字が変わります



古紙/パルプ配合率80%再生紙を使用



古紙/パルプ配合率50%再生紙を使用

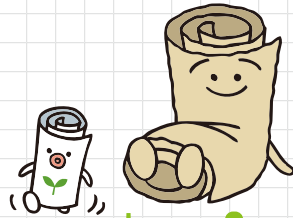


古紙/パルプ配合率100%再生紙を使用

「紙リサイクル」と「持続可能な社会」のつながり

紙リサイクルは、資源の有効活用や森林資源の適切な利用につながっており、持続可能な社会に大きく貢献する行動です。

古紙の分別や
リサイクルされた
製品を使う事など



身のまわりの小さな活動が
持続可能な社会づくりに
つながっているよ！



持続可能な社会 とは

持続可能な社会とは、健全で恵み豊かな環境を通じ、将来にわたって一人ひとりが平和に豊かに、ずっと生活を続けていける社会のことです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs (エスディージーズ) とは

サステナブル Sustainable ▶ 持続可能な

デベロップメント Development ▶ 開発

ゴールズ Goals ▶ 目標

「紙リサイクルと持続可能な社会づくり」を テーマに選んだときに、気をつけてほしいこと

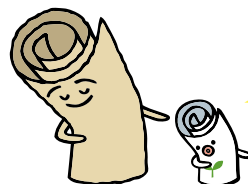
紙リサイクルを行うことは資源の有効活用や森林資源の適切な利用に繋がっています。古紙の分別やリサイクルされた製品を使用するといった身近な行動が、持続可能な社会に貢献していることを意識して作品を制作してください。

本コンテストは「紙リサイクル」をテーマとしたコンテストであり、「持続可能な社会」や「SDGs」について調べたことだけをまとめた作品は審査の対象外となる可能性があります。

具体的な紙リサイクル活動や体験に基づいた作品を制作してください。

ポスターを描く時に SDGs の
ロゴやマークを使う場合は主題に
ならないようにしましょう。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs を主題とした
作品にならないように
気をつけましょう

作品づくりの注意点

“紙リサイクル”の仕組みや、リサイクルできる紙の種類などをしっかり理解して作品づくりに取りかかりましょう。テーマがずれてしまっているため、せっかくの応募作品が審査の対象外となってしまうことがあります。

ここからは、コンテストの作品づくりに向けた注意点をまとめています。

紙のこと、リサイクルのことを正しく理解して取り組みましょう！



紙リサイクルのことをしっかり理解しよう

正しい例

- ・私の家では、使い終わった紙を集める箱を置いて古紙回収に出している
- ・リサイクルに出した紙はどうなるか調べた

紙リサイクルについて

取り上げているので正しいです。



誤った例

- ・紙箱を筆箱にして使っている
- ・牛乳パックを洗ってまな板にしている
- ・新聞紙を雑巾代わりに使う

これらはリユースになるため、正しくありません。



「リサイクル」は「捨てること」ではないよ！

書き方や表現によって審査の対象外となってしまう場合があります。正しくリサイクルする様子を表現しましょう。

「かみ」と「ごみ」を混同しないように気をつけよう



リサイクルされる表現



・古紙 ・資源 ・収集所に出す

リサイクルされない表現



・紙ごみ ・資源ごみ ・ごみ
・ごみに出す ・捨てる



注目！

リサイクルできる紙は **資源** です。

ごみではない ため、**ごみを捨てる**、**ごみ捨て場に出す** など、リサイクルされない表現をすると、審査の対象外となる場合があります。リサイクルする様子を表現するときは、上にあるキーワードの使い方に気をつけましょう。

※自治体によっては「紙ごみ」、「資源ごみ」と表現している場合がありますが、当センターでは「ごみ」といった表現は使っていません。よって、本コンテストでも表現しないようにしてください。

作品づくりの注意点

紙の種類に気をつけて！

紙の種類によって **リサイクルできない紙** があります。
作品を書く時にも、リサイクル **できる紙** と **できない紙** を
混同しないように注意しましょう。

リサイクルできる紙



新聞 雑誌

雑がみ

段ボール 紙パック

リサイクルできない紙



洗剤の箱やにおいのついた紙

フィルム付き封筒 レシート 紙コップ

金銀の光る紙 写真 …など

また、**古紙** の種類と、リサイクルをして **生まれ変わる紙製品** の
種類も間違えないように気をつけましょう。

正しい例



古紙回収に出した段ボールが、
また段ボールに生まれ変わった

誤った例



新聞紙は
トイレットペーパーになる

描いてはいけないマーク

“紙リサイクル”と異なるマークは描かないでください。

描いていけないマーク

プラスチックや缶類など、

“紙リサイクル”とは関係していないマークは描かないでください



紙製容器包装識別マークについて



このマークは、商品を入れる容器や包装が
主に紙製であることを示したマークです。

本コンテストの作品には使用しないでください。

作品づくりの注意点

「森を守ること」は紙リサイクルの目的ではないよ！

紙リサイクルの目的は、古紙を回収して資源に戻し、新たな紙の原料に利用することです。応募作品の中に「紙リサイクルをすることで森や木を守る、森林破壊を防ぐ」といった内容の作品が見られます。

本コンテストは「森林保護について」ではなく、「紙リサイクル」をテーマとしています。しっかり再認識をして、目的がずれてしまわないように気をつけてください。

紙の無駄使いは森林破壊になるので、紙リサイクルをしよう

紙リサイクルの目的は「紙をごみにすることを防ぐ」ことであり、「森林破壊を防ぐ」ことではありません。

森を守るとは、地球温暖化防止となるので紙リサイクルをしよう

「紙リサイクルは森を守ること」として関連づけて書かれていると、審査の対象外となる場合があります。

紙を作るために、木々を伐採することは森林破壊に繋がる

紙の原料として、一部利用している木材（パルプ）は端材、もしくは廃材を使用しています。紙を作るために森林を不必要に伐採しているわけではありません。

これらはすべて誤った認識です



「自分が考えたこと」を作品にしよう

「紙リサイクル」「紙のリサイクル」等と検索して調べた内容、インターネットに出ている内容（説明や事例）をそのまま書き写したような内容のものは、審査の対象外になります。必ず、児童・生徒自身が考えた作品を応募してください。

また、共同作品や合作も審査の対象外になります。自分自身が「紙リサイクル」について考えたこと、思いついたことを作品にしましょう。



テーマがなかなか決まらないときは…

以下のような、紙リサイクルの課題の解決策について提案する内容もテーマとして考えられます。

リサイクルできる紙がごみとして捨てられないようにするためには？

リサイクルできない紙が古紙に混ざらないようにするためには？

木材（パルプ）よりも古紙を原料にした紙製品を使ってもらうためには？

古紙回収活動（集団回収活動）を継続していくためには？

〇〇するために、
〇〇したらどうかな？

思いついた
アイデアを
書いてみよう！





最優秀
作品

文部科学大臣賞

2024 年度 受賞作品

リサイクルの推進活動をするようになったきっかけを書いて、続く実際にやったことの文章につなげています。

「よく周りから聞く言葉」として、「リサイクル活動にあまり興味を持っていない人に共感するような言葉」を書き出しに持ってくることで、そういった人たちに向けてこの作文を読んでもらおう、という気持ちが伝わってきます。

紙を捨てる概念がなくなる日のために

中学三年生

「たったこれだけの紙だから、面倒臭いし、燃えるゴミに捨ててしまえば良いでしょ。」私は何度もこの言葉を耳にしたことがある。この言葉は私が学校の環境団体で活動している時、よく周りから聞く言葉だ。

私は小学校三年生のときカナダへ旅行に行った。その時に初めて氷河を見て、地球温暖化による氷河融解の影響が身近に迫っている事を知り、環境問題に興味を持つようになった。現在、私は学校の環境団体で生徒や先生方の環境問題に対する意識を変えるために日々活動をしている。

今年の四月、私は学校で、各教室一つずつ設置してある紙資源専用のリサイクル箱が適切に使用されていない事を知った。また、大量のリサイクル可能な紙が燃えるゴミに捨てられ、リサイクルされていなかった。紙資源専用のリサイクル箱が適切に使用されなくなった背景に、引き継ぎが行われなかった事や主導する人が曖昧だった事が判明した。このままでは学校で紙資源がリサイクルされなくなってしまうと思った。もう一度、紙資源専用のリサイクル箱を、全校で使ってもらうための対策を立てるために考えた。

私は、常に活動を進められる委員会と協力する事で、私が卒業した後もこの活動を継続していけると考えた。委員会との協議の結果、「リサイクルアドバイザー」として、

各学年に紙リサイクルを主導する係を設置し、紙リサイクルを促進させる事に決まった。

現在、数ヶ月に渡って計画してきた計画の実行段階に入っている。今後も試行錯誤を続け、どんな事があっても揺るがない仕組みを構築させたい。そして今後、私の作った基盤を基に紙のリサイクルが何十年も先まで、我が校で続くことを願っている。

一人の生徒の小さな一歩が、一つの学校の多くの生徒の大きな一歩となる。その動きは他の学校にも広がり、より大きな一歩となる。そして、日本中でその動きが起されば、世界に影響を与えられると思う。

私達は気候変動に対して行動できる最後の世代と言われている。長期的な目標を実現するために、私自身が他人を巻き込み、勇気を持って一歩を踏み出したい。最初の一歩は、誰も気づかない程小さな一歩だと感じる。強い意志を持って行えば、他の人に影響を与え、前向きな変化をもたらす事ができると思う。今後、何回も色々な人や問題の壁に突き当たる事があるだろう。だが、どんな時でも挫けず、仲間と共に、環境活動を積極的に進めたい。そして、全校生徒が紙リサイクルや他の環境活動に積極的に参加するようになる事を願っている。やがてその動きが広まり、日本中で紙を「捨てる」という概念を「捨てる」事ができる日が来る事を願って、これからも活動を続けたい。

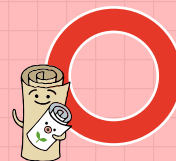
紙を捨てるという「概念」を捨てる、という、タイトルにもしている文章できれいに締めています。

自分の行った活動を、他の学校にも広めていきたい、私たちの世代に大きく広げていきたい、という決意がとても感じられます。

身近で行われているリサイクル活動の問題点に「気づき」、改善点を「考え」、そしてその改善を「実行」しているという3段階の行動がとても素晴らしいです。

調べたことを簡略的にまとめ、自分が感じたこと、思いついたことを投げかけることで、次の場面への繋がりができています。

『雑がみ』に興味を持ったきっかけと対比した事実が、このあとどうなるか読み手を引き込む書き方をしています。



動き出そう。その先へ。

小学四年生

初めて『雑がみ』という言葉を知ったのは四年前。リサイクルできる古紙は段ボールや紙パックなど大人が使う紙ばかりだと思っていた私にとって、子供が接することの多い雑がみがリサイクルできるという事実はわくわくしたものだ。しかし雑がみの大半が家庭ごみとして捨てられていることを知り、がく然とした。まずは身近なところからと、家で雑がみ袋を作ってリサイクルに取り組んだところ、家庭ごみの量も半分ほどに減った。

『我が家だけではないはずだ。』

この思いが私を大きく動かした。まずは住んでいる地域の雑がみリサイクルについて調べてみた。すると、私の住む北九州市は町内会やスーパーのリサイクルボックスを利用して雑がみの回収を行っているだけで、行政回収を行っていない自治体だと分かった。市民の意識と行動にまかせた、何ともしやらない方法だ。また周囲には、段ボールや新聞紙をリサイクルしている人でも、雑がみという言葉自体を知らない人も多くいた。

どのようにしたら、雑がみのリサイクルがすすむのだろう。ふと、プラ袋有料化の時の新聞記事を思い出した。コンビニでレジ袋の代わりに指定ごみ袋を販売し、余計なプラごみを出さない取り組みだ。また、雑がみの指定回収袋を導入している自治体があることも知った。北九州市も雑がみ回収袋を導入しレジ袋の代わりに販売すれ

ば、市民が雑がみを知り、リサイクルも進むのではないだろうか。

私は『理想の雑がみ回収袋』を考え始めた。ポイントは二つ。まずは生活の中になじむこと。シンプルなデザインで、自立するとより良い。大きさも重要だ。小さすぎてもつぶした箱が入らないし、大きすぎても重くなる。二つ目の工夫はプライバシーへの配慮だ。個人情報が入るからちぎってごみ箱に入れているという声も聞いたからだ。家庭から出る雑がみは生活の様子や個人情報を含む。そこで私の回収袋ではミシン目を作り、上部を重ね合わせることで、中身が見えないように工夫した。

こうして考えた理想の回収袋、それに北九州市の雑がみ回収の現状や周囲の人に聞いた意見などを加えた資料を作った私は『北九州の雑がみ回収に関する指定雑がみ回収袋導入の提案』として市役所に持ち込んだ。

その半年後…。市は『小学生からのアイデアを形にした』として雑がみ回収啓発イベントを発表。小学生が家庭で集めた雑がみを、再生紙から作ったトイレットペーパーと交換する取り組みを行った。二日間で約一トンが集まり『雑がみ最前線』にいる子どもたちが紙リサイクルについて知るきっかけとなった。

知ること。次に行動。小さな行動が大きな動きの引き金になる事もある。身近な所からコツコツ、リサイクルと同じだ。動き出そう。より良い未来を作るため、まずは自分から。

自分が起こした行動でどういった結果になったか、また、自分が感じたこと、意識したいことで締めくくすることで、作文全体の印象を強められています。

実際に使うことを想定した『理想の雑がみ回収袋』を考え、市役所に提案した行動力が高く評価されました。



気になったことを調べ、段ボールの役割やリサイクルの取り組みを正しく理解しています。日本の回収率の高さを「紙リサイクル優等生」と表現し、作文のテーマを確立しています。

今起きている出来事から書き始めていることで、読む人の気持ちを引きつけています。

みんなで目指そう！紙リサイクル優等生！

小学三年生

コロナかももう三年。インターネットでの買い物が多くなり、家に段ボールがふえた。それをまとめてリサイクルに出すのは、私の役わり。段ボールにふれる機会もふえた。

ある日、ほとんどの箱に見たことのない同じマークがついていることに気がついた。広げた箱のまわりを矢印が一周している。調べてみると、これは段ボールのリサイクルマーク。なんと世界共通のマークだ。あらためて見ると、たしかに海外から届いた段ボールにも同じシンボルマークがついていた。段ボールは段ボールに生まれ変わる。95%以上が回収され、原料の90%以上は古紙だ。かぎられた資源をむだにしない、まさにリサイクルの優等生。このシンボルマークは世界が一丸となってリサイクルに取り組んでいる証なのだ。リサイクルできる紙は段ボールだけではない。新聞紙、雑誌、雑がみ、紙パックなど、これらは全て「古紙」と呼ばれる資源だ。古紙回収率を調べると、世界の平均が60%ほどなのに対し、日本は80%以上とひ常に高い。また古紙利用率も世界平均を上回っている。日本はまさに紙リサイクル優等生だったのだ。

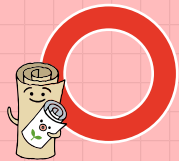
この紙リサイクル優等国である日本の中で、さらに私にできることは何だろう。去年、自分のまわりの人50人以上からアンケートをとった。その結果、紙リサ

イクルの知しきはあっても実際の行動にうつせていない人が多かった。リサイクルの仕組みや知しきがあるのに、正しく使わなければもったいない。それならばリサイクルを実際にそして簡単にできるような仕組みがあるとよい。ではわが家ではどうだろう。紙リサイクルのために専用の置き場があるのは、新聞紙や雑誌、紙パック、段ボールだ。なんと雑がみだけ専用の置き場がない。そこで「雑がみ入れ」を作った。大きめの紙ぶくろを用意。貴重な資源をうっかりごみにしてしまわないよう、ぶくろはごみ箱の近くに置く。すると一週間もたたないうちに雑がみ入れはいっぱい。そういえば、雑がみの6わりがもえるごみとして出されていると聞いたことがある。若い人ほどごみとしてすてているとも。母に聞くと、たしかに雑がみ入れを作ってからわが家の家庭ごみの量もへったらしい。簡単な工夫でこんなにもかわるのだ。今までいかに多くの資源をごみにしてしまっていたのかと反省した。考えてみると、コピー用紙やおかしの箱など私たち子どもは雑がみと接することが多い。私たち若い世代が雑がみを資源ととらえることが、より紙リサイクルをすすめるカギなのかもしれない。学校でも雑がみ入れを作ったらどうか。きつとたくさん集まるはずだ。

一人一人が紙リサイクルを理解し、協力して、行動しよう。この紙リサイクル優等国の日本でさらに力を合わせよう！みんなで目指そう！紙リサイクル優等生！

自分が感じたこと、調べたこと、実践したことを踏まえて、テーマにしている「紙リサイクル優等生」でしめくり、伝えたいことがわかりやすくまとめた作品になっています。

自分ができるとは何か、まわりの人の行動を調べ、どのような工夫で、もっと紙リサイクルに繋がるかアイデアと実践例を書いていることと、これからについての考えもまとめられ、高く評価されました。



お母さんとの会話の中から、興味を持ったきっかけを会話をまじえて書いています。

自分の好きな「ヒーロー」に紙リサイクルをあてはめて、好きなことをもっと知りたいと思う気持ちがうかがえます。

リサイクルのヒーロー

小学一年生

かっこいいことばが、ぼくはすきだ。みんなのためにがんばる「ヒーロー」ということばは、とてもかっこいい。ヒーローが本に出てくるとぼくはわくわくする。そしていま、ぼくにとってかっこいいことばは「かみリサイクル」だ。つかったかみをあつめて、しげんにする。そのしげんをあたらしいかみにして、またつかう。かみが生まれかわっていくしくみは、かんきょうにやさしい。だからぼくは、かみリサイクルが大好きだ。

ぼくのすんでいる町、まつやまは「人口五十まん人いじょうのとしの、一人一日あたりのごみのりょう」が九年れんぞくで一ばんすくなくなったそう。ぼくはおかあさんに、

「どうしてごみをへらせたのかな。」

ときいた。おかあさんは、

「まつやまにすむ人が、おうちでもかいしゃでも、しげんをすてずにリサイクルしたおかげだよ。ぶんべつ上手はヒーローだよ。」といった。かっこいいことばは、はっけん。しげんの「ぶんべつ上手」というこ

とばをしって、ぼくもなりたいたいとおもった。だからぼくは、おうちでどんなぶんべつをしているのかしらべることにした。

ぎゅうにゆうパックはあらってほす。しんぶんしはまとめてしぼる。だんボールはついているテープをぜんぶはがして、おりたたむ。ざつがみには、よごれたかみやフィルムなどが入らないようにする。ざつがみのルールはしらないことがいっぱいあったけれど、おうちにある「はやわかりちょう」のおか

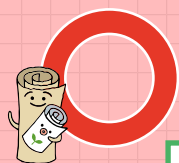
げで、すぐにルールがわかるようになった。まつやまでは、しげんをぶんべつするための「はやわかりちょう」をつくっている。イラストがたくさんあって、小学一年生のぼくにもわかりやすい。おかあさんのかいしゃもこのイラストを大きくはって、ぶんべつ上手をふやしていたそう。

ぶんべつは、しげんになるものをなかまわけすること。ぼくはつかったかみのぶんべつ上手になって、かみリサイクルのわをひろげたいとおもう。ぶんべつ上手なりサイクルのヒーロー、ぼくのきめぜりふはこれにきまり。つかったかみは、リサイクル。」

自分にもみんなにも、わかりやすい「きめぜりふ」で、分別するきっかけを作っているようにしています。

市が作っている「はやわかりちょう」の中の良かった部分をお母さんの話と合わせて書いていて、リサイクルの情報が身近にあるんだということを紹介しています。

自分で調べたことをしっかりと理解して、牛乳パック、新聞紙、段ボール、雑誌みとそれぞれの対応方法が正しく具体的に書けています。



金賞

作文中学生部門金賞

2024 年度 受賞作品

雑がみ回収の注意点について詳しく調べていて、その注意点が守られていないことが多い現状も調べ、それらをわかりやすくまとめられています。

普段から家庭でリサイクル意識があり、さらに雑がみについて深く調べて作文のテーマとするという、好奇心ある行動が素晴らしいです。

雑がみは立派な資源

中学二年生

私の家では、雑がみをリサイクルできるようにきちんと分別している。それはおばあちゃんが雑がみを分別していたのを見て、我が家でも自然に分けることが当たり前になった。お母さんは、「燃えるごみが減るから助かる。」

と言っていた。ここで私は思った。今までは当たり前に雑がみを分けていたけれど、どのようにリサイクルされるのか全然知らない。そこで雑がみについて調べることにした。

調べてみると、雑がみとして回収できるものと、回収できないものがあると書いてあった。例えば、臭いがついているものや食品が付着したもの、また防水加工やアルミコーティングされているものは、リサイクルができないため、回収することができない。

しかし、古紙再生促進センターのホームページには、「雑がみ回収では、リサイクルできない紙類と異物の混入が多い」と書かれていた。私は、雑がみに対する知識が広まっていないと感じた。

また、回収するにもルールがある。当然だが、バラバラに出してはいけない。ひもで縛るか、紙袋に入れてバラバラになるのを防がなければならない。確かに、お母さんも紙袋に入れて回収ボックスの中に入れていた。私が住んでいる豊橋市は、雑がみを入れる「雑が

み分別お試し袋」を配布しているらしい。しかし、数に限りがあり、なくなり次第終了で自分で取りに行かなければならない。もし雑がみを資源としてリサイクルしたいのなら、各家庭に配布したり、もしくは回収場所に雑がみを持ってきてくれた人に、次回も持ってきてもらえるように配布するなどしたら、もっと雑がみを持ってこようと思う人が増えるのではないだろうか。

今回雑がみについて調べることにより、いくつかの問題点があることがわかった。その全てが雑がみに対する知識が全然足りていないということだ。ここで少し提案だが、燃えるごみなどを出すごみステーションに、分別や回収場所が書かれた看板や貼り紙を設置したり、回収ボックスが設置されている店舗の入り口に貼り紙を貼ったりして、色々な人の目にふれるようにしたら、もっと雑がみのリサイクルが増えると思う。せっかく回収ボックスが色々なところにあるのに、もったいないと思う。自治体が回収する場所の他に、民間でも回収をしているのだから。特に民間の回収場所は、買い物のついでに寄ることも可能だ。

雑がみは立派な資源なのだから、新たに命をふきこんで、新しいものとして生まれ変わるべきだと思う。少しでも多くの人が、雑がみを捨てる前にリサイクルできるのではないかと、考えてくれることを願う。私はこれからも、雑がみのリサイクルを続けていく。

多くの人に正しい雑がみリサイクルの知識を知ってもらうことで、よりリサイクルの意識を持ってもらえることを期待しています。

自分で気づいた点について、改善のアイデアを出して、よりリサイクルしやすい社会を目指すことが書かれています。

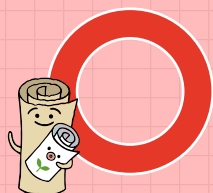
最優秀
作品

文部科学大臣賞

2024 年度 受賞作品



広がれ!! つながれ!! 紙のリサイクル
小学6年生



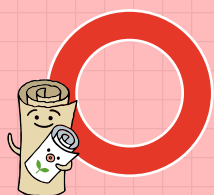
みんなで広く協力して紙リサイクルにつなげようというテーマが、実際の新聞紙や紙パック、封筒などを使ってカラフルに表現されています。

最優秀
作品

文部科学大臣賞 2023 年度 受賞作品



紙資源 ～おかえり『ただいま』～
中学3年生



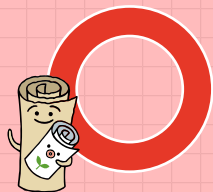
古紙回収に出した紙と、それに関わる人々の関係、
新たな紙製品として生まれ変わっている様子と、古紙に
語りかけているキャッチコピーがあたたかい印象です。

最優秀
作品

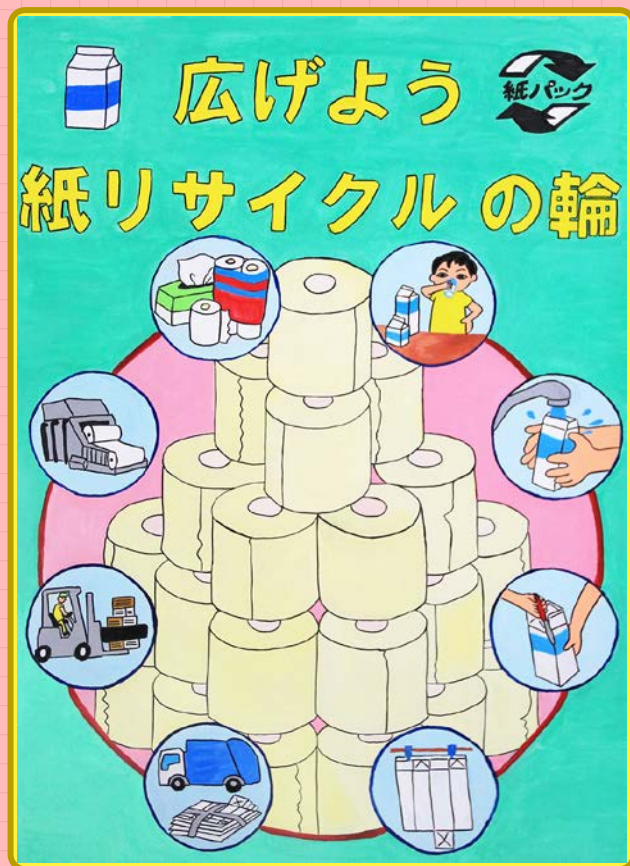
文部科学大臣賞 2022 年度 受賞作品



地域みんなで古紙回収！
中学1年生



古紙回収の様子がていねいに描かれていること、テーマの
核心となる「地域の活動が古紙を守ることに繋がっている」
を表現している様子が高く評価されました。



ポスター小学生部門
2024 年度 金賞

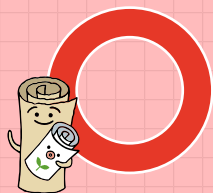
広げよう 紙リサイクルの輪
小学4年生



ポスター中学生部門
2024 年度 金賞

捨てないで紙パック！

中学3年生



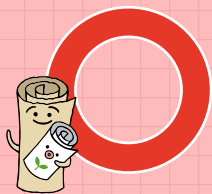


金賞

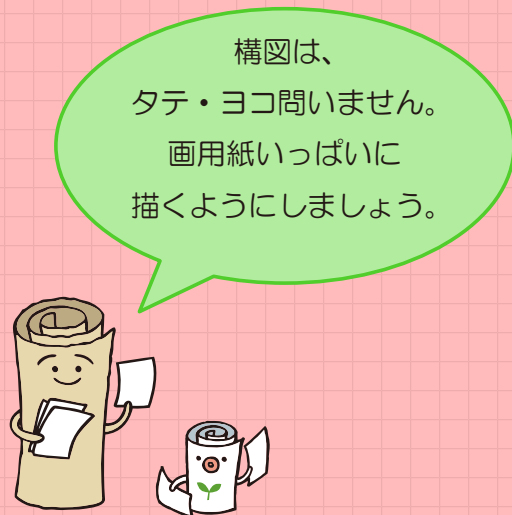
未来で花さく 紙のたね
小学4年生



紙リサイクルのしくみ
中学3年生



良い作例 ポスター編



2023年度 特別金賞

紙リサイクルでぼくたちは
何度でも生まれ変われるんだ
中学2年生



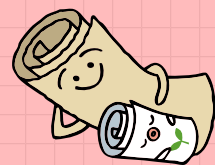
2024年度 特別金賞

紙はリサイクルでよみガエル
小学6年生



2022年度 小学生部門 金賞

聞いて！ぼくたちの声！
小学4年生



2024年度 小学生部門 銀賞

未来につながる紙リサイクル

小学6年生



2024年度 中学生部門 銅賞

僕達の居場所

中学1年生



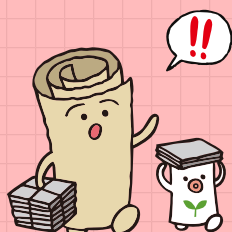
2022年度 特別金賞

また会おう

小学2年生

良い作例 ポスター編

画用紙規定内のサイズ (A4 以上四つ切以内) であれば素材は自由です。
これまで画用紙以外の素材を使い、貼り絵などで表現した作品もあり、
独創性が評価された作品も多数あります。



ビニールや金銀の紙など、
紙リサイクルできないものは
使わないでね

実際に使われた素材

新聞紙、雑誌の切り抜き、
段ボール、折り紙、厚紙、
牛乳パック…など

画用紙以外の素材を使い、独創性が評価された作品の例



厚紙や新聞紙などリサイクル
できる紙を使用した作品

2023年度 特別金賞

かみのまじっく

小学1年生



新聞紙や段ボール、
厚紙などを使用した作品

2024年度 小学生部門 銅賞

かみが大へんしん

小学2年生

良い作例 ポスター編

画用紙以外の素材を使い、独創性が評価された作品の例



牛乳パックで手すきした紙に描いた作品

2021年度 特別金賞

いざっ! うまれかわりに
しっかりわけてね 紙リサイクル
小学2年生



段ボール、新聞紙を使用した作品

2021年度 中学生部門 金賞

ぜひお古紙ください。
持続可能な未来へ…
中学2年生



折り紙、新聞紙などを使用した作品

2020年度 中学生部門 金賞

古紙から美しい未来へ
中学1年生

ポスターづくりのポイント



優秀な作品として選ばれる作品には、下記の要素が大きく関わってきます。

テーマに沿った内容であること

描いた本人の意図が表現されていること

人の心を強く引き付けるメッセージ性があること

キャッチフレーズがしっかりとしていてわかりやすいこと

分別できるもの、できないもの、どの紙がどのような紙製品に生まれ変わるかをきちんと理解し、正しく「紙リサイクル」が描かれているかどうか大きなポイントになります。下書きのときに、紙の種類やマークを間違えていないか、しっかり見直しておきましょう。

絵やイラストは分かりやすくしましょう

何を意味するのかが分かりやすいような絵やイラストを描きましょう。

文字の位置を工夫しましょう

絵やイラストとの調和を考え、文字とのバランスがとれるような位置に配置するように意識しましょう。

文字は大きく太くはっきり描きましょう

キャッチフレーズは“紙リサイクル”というテーマがはっきりわかるように描きましょう。

キャッチフレーズについて

レタリング（美しく読みやすい字にしたり、文字をデザインすること）をして描くと、よりしっかりとした印象になります。

(例) 紙 → 紙

誤字脱字に気をつけましょう

キャッチフレーズは短いフレーズです。その分、誤字脱字があると、間違いがより目立ってしまいます。

息を吐きながら描くことがきれいに描くコツ

少しずつ息を吐きながら筆を進めていくと、筆先がぶれません。

さまざまな良いポスターを見てみましょう

良い作品を見ることで、新しいアイデアが浮かぶと同時に制作の質も上がります。

裏面も手を抜かず勝負しましょう

応募票にポスターの意図を書ききれないときは、ポスターの裏面にも書きましょう。

絵やキャッチフレーズで何を伝えたかったのか

テーマを選んだ経緯や意図など

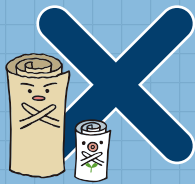
わかるように説明してあると高評価につながります。

文字数の制限はありません。

思ったことを自由に書いてみましょう。

- ・〇〇だったらいいな。
 - ・〇〇の思いでこのポスターを描きました。
 - ・みんなで〇〇したらいい、を表現しました。
 - ・〇〇している様子を絵で表現しました。
- …など

良くない作例 作文編



ここからは、どのようなことが評価の対象外になるのか「良くない作例」を見ながら理解していきましょう。

応募の前に下記のような表現、認識の間違いがないか注目しましょう。

インターネット等で調べた内容をそのまま書いている作品が見受けられます。調べた事を書くときは、要点だけ書くようにしましょう。

「捨てるに使うこと」は「リユース」になるので審査の対象外になります。

本コンテストは「紙」がテーマです。紙以外のリサイクルは取り上げないで下さい。

私が思うリサイクル
今、取り込んでいるリサイクル活動は、飲み終わった〇〇ジュースのペットボトルを洗い、ラベルを剥がしてペットボトル、プラスチックに分別していることです。お母さんが料理で使った缶詰もリサイクルします。お買い物でもらったレシートもリサイクルに出します。

新聞紙は雑巾の代わりに使います。紙ごみの箱に捨てて集めています。

ゴミ捨て場に集められた紙は、回収されて工場に運ばれていきます。工場で集められた紙は紐を解き、ベルトコンベアーで運ばれて、専用のミキサーの中で水と一緒にいれられ、ドロドロの状態になります。そのような状態のものを「パルプ」と言い、これが新たに生まれ変わる紙になります。日本では一年間に一人約200kgの紙を使っています。例えば、児童の人数に置き換えると小学四年生七人分になります。紙を作る材料は、古紙の他に木材が必要です。木材はチップといわれる細かく切った状態にし、紙の材料になるパルプにします。再生紙は、木材チップよりも古紙のほうが多く使われています。

リサイクルされた紙は、新聞紙は段ボールに、段ボールはティッシュペーパーに、ティッシュペーパーはトイレットペーパーに生まれ変わります。

そこで、私が考えたアイデアはきちんとゴミを出すようにゴミ捨て場にポスターを貼ることで、周りの人に意識してほしいと思いました。

私は、これからも森を守るために、色々なものをリサイクルしていきたいと思っています。

古紙は貴重な資源なので、「ごみ」「捨てる」と表現しないでください。「紙を箱に集めています。」といった表現が望ましいです。

紙リサイクルは紙をごみにすることを防ぐことであって、森林破壊を防ぐことではありません。

どの紙が、どのような紙製品に生まれ変わるか正しく書きましょう。

新聞紙→
新聞紙や週刊誌、印刷用紙など
段ボール→
段ボール箱、紙箱など
ティッシュペーパー→
リサイクルできません。

商品名、企業名など特定の名称は入れないようにしましょう。

レシート(感熱紙)は、リサイクルできません。

良くない作例 作文編

紙リサイクルの目的は、使い終わった資源を再利用することです。
森林を守ることが目的ではありません。
「紙リサイクル」の意味をもう一度考えてみましょう。

「ゴミを出さない」ことは
「リデュース」です。

汚れがついた紙は
リサイクルできません。

紙は貴重な資源なので、「ごみ」
「捨てる」と表現しないでください。
「古紙回収に出しています。」と
いった表現が望ましいです。

僕のゴミ出し運動

僕は毎週日曜日の朝、父と一緒に自治体の紙ゴミ回収場所に、家で集めた紙ゴミを出しに行くことが習慣になっている。

いつも牛乳をたくさん飲むので、牛乳パックのゴミもたくさん出るし、父が読み終わった新聞、雑誌も全部まとめて紐にくくって出しに行くから、父が持ちきれない分は僕が持って行くのが当たり前になっている。

この前は、家族で出前のピザを頼んだので、そのピザの箱もまとめて出した。いつもよりたくさん量のゴミを捨てることができて、達成感でいっぱいだ。

僕は折り紙が好きで、よく遊んだり飾ったりした後は紙リサイクルに出すようにしている。金銀の折り紙も遊んだあとはリサイクル箱へ。他にも、お菓子のおまけについているキラキラしたシールも貼って遊んだあとはリサイクル箱に出している。

たまに母がもらってくる紙袋で、持っところの紐が丈夫なものがある。「これはお宝だ」と言って、使い終わった紙をたくさん入れて、そのまま回収場所に持って行くことができる。僕も、重い古紙を運ぶときに、丈夫で子どもでも持ち運びしやすい回収袋があったらいいなと思った。

たくさん紙リサイクルをすることによって、木をたくさん切り倒して森林が伐採、破壊されなくなっていくと思う。森に住む動物たちの命も守れると感じた。毎週日曜日の回収も、もっとたくさん出してリサイクルできるように、使い終わった紙は、全部回収場所に出したり、なるべくゴミを増やさないために、できるだけ紙を使わないようにして、僕も紙リサイクルの輪にたくさん貢献したいと思う。

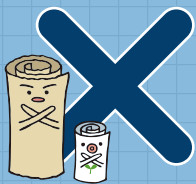
金銀の紙はリサイクルできません。
シールもキラキラしているものやビニール
でできているものはリサイクルできません。

紙袋でも、取っ手が紙製ではないものは切り取って分別してください。
そのままリサイクルに出さないように
しましょう。

リサイクルに出すときは、紙の種類ごとに
分別して出す必要があります。
まとめて出すことは正しくありません。



良くない作例 ポスター編



一見「リサイクルに関連しているから大丈夫」と思っても、
 「紙リサイクル」とは異なることや、
 間違った認識のまま「紙リサイクル」を表現することによって、
 対象外になってしまう作品が多く見受けられます。
 下書きのときに確認し、このような表現がないか気をつけましょう。

これらのマークは、「紙リサイクル」とは関係しないマークです。
当コンテストでは使用しないでください。

紙を「紙ごみ」と言わないようにしましょう。
きれいなレタリングができていても、
キャッチフレーズが間違っていると評価の
対象外になってしまいます。



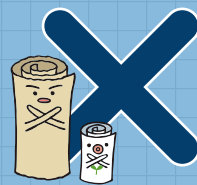
使い終わった紙を捨てる様子などの表現はしないでください。
上から × 印を描くといった、禁止を意味する表現にしましょう。

「紙コップ、紙皿」や「レシート」はリサイクルできません。
間違ったリサイクルを描くと審査の対象外になります。

「牛乳パック」は段ボールではなく、
「トイレットペーパー、ティッシュペーパー」になります。
生まれ変わる紙製品を正しく描きましょう。

良くない作例 ポスター編

「紙」に関することがまったく描かれていないと、どんなに力作であっても、審査の対象外となります。また、画面いっぱいの色を塗るなど、何もしていないところがないように、しっかり描いてみましょう。



ていねいにレタリングされていても、テーマがずれていると審査の対象外になります。下書きの時にしっかり見直してみましょう。

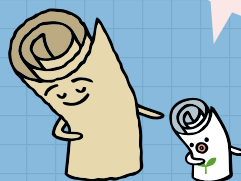


塗り残しなどがないように、なるべくていねいな作品づくりを心がけましょう。

「リサイクル」という大きなくくりではなく、「紙」に絞ったリサイクルについて表現しましょう。

紙リサイクルは紙をごみにすることを防ぐことであって、森林破壊を防ぐことではありません（紙を作ることは森林破壊につながりません）。

これらをふまえて
より良い作品づくりに
取り組みましょう。



応募にむけて

ここまで、紙リサイクルの仕組み、作品づくりのポイントをおさえてきました。紙リサイクルについて正しく理解した上で、最後に応募規定とあわせて要点を振り返り、コンテストへ応募してみましょう！

✓ チェック

「リデュース」や「リユース」、
「森（木）の循環、保護」などと
混同していませんか？



作文もポスターも
作品の裏面に
応募票を必ず貼ってね！

特定の個人名、団体名、
企業名を入れていませんか？

他の作品や生成 AI などを流用したと
思われる内容ではありませんか？

応募前に応募規定をチェックしましょう！

作文部門

- ☐ 原稿用紙 400 字詰 3 枚程度（1,200 字以内）
- ☐ 本文の前に「題名」「学校名、学年」「名前」を記入すること。
- ☐ 生成 AI 等を使用して文章を写した作品は応募できません。



ポスター部門

- ☐ サイズが規定内である。（A4（21cm×29.7cm）以上、四つ切（39.5cm×54.5cm）以内）
- ☐ 立体は不可。（古紙などを使用した貼り絵、切り絵の表現は可。）
- ☐ 応募票にポスターの意図を記入すること。書ききれない場合は作品の裏面に書いてください。

※ 共同制作、合作は審査の対象外になります。

※ 1 人で複数の作品に応募する場合は、「作品名」で違いを明確にしてください。

※ 個人名・企業名・団体名・商品名が入っている作品、共同制作、発表済みの作品は審査の対象外になります。

当センターのホームページでは、この「応募の手引き」の他に、過去の受賞作品などの参考資料、紙リサイクルについてのコンテンツを用意しています。ぜひご覧いただき、家庭での取り組みにご活用ください。



古紙再生促進センター 紙リサイクルコンテストページ
http://www.prpc.or.jp/activities/public_relations/?id=contest#contest

紙リサイクルコンテスト

検索

＼ HPIはこちら ＼



◇ 審査基準

- 1) 応募規定に沿っていること。
- 2) 紙リサイクルの大切さを自分の言葉や絵画で他者に伝え、環境にやさしい社会を目指そうという意識や行動を高めていこうという内容の作品であること。
- 3) 応募作品は本人のもので、未発表のものであること（共同制作は認めない）。
- 4) 特定の個人名、団体名、企業名、商品名を入れたものではないこと。
- 5) より具体的には、以下の観点を基準とする。

（審査観点）

① 理解力

- ・ 紙リサイクルについて正しく理解し、テーマに沿って文章や絵で表現されているか。
- （「リデュース」や「リユース」、「森（木）の循環」などと混合していないか）

② 独創性

- ・ 発想が自由で、豊かな感性が表現された作品であるか。
- ・ 他の作品などを流用したと思われる内容ではないか。

③ 表現力

（作文）

- ・ 構成が工夫されており、表現したいことが丁寧でわかりやすく書かれているか。
- ・ 自分の考えや思いがよく伝わるものであるか。

（ポスター）

- ・ 構図が工夫されており、表現したいことが丁寧でわかりやすく描かれているか。
- ・ ポスターとして、人の心（注意）を強く引きつけるメッセージ性のあるものであるか。

④ その他

- ・ 作品は小学校低学年（1・2・3年）、高学年（4・5・6年）、中学校の3区分に分けて審査する。（小学校1年生と6年生を同じ基準で審査しない）

応募に関する問い合わせ先

ジョブート
全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト事務局（JOBBOOT内）
〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-31-11 KSビル4F
電話：03(6403)3383 FAX：050(6875)7592
メール：contest@jobboot.co.jp



企画・編集・発行

公益財団法人 古紙再生促進センター

TEL.03-3537-6822 FAX.03-3537-6823 <http://www.prpc.or.jp>

2025.6